

2021年度 法科大学院

第3期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5)下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6)参照は不可となっています。
- (7)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文 1]

以下の会話文を読み、続く問いに答えなさい。

教授 今日、キャンパス脇の並木道で白い大きな蝶を見たよ。フワフワと舞っていたんだ。びっくりしたなあ。あの大きさであんな飛び方をする白い蝶が東京にいるなんて。

妻 それでなんという蝶か分かったの？

教授 知り合いの博物館の先生にメールで報告したら、すぐに返信があってね、「それはアカボシゴマダラの春型とみてまず間違いないと思います。最近都内での発見例がしばしば報告されています」ということだった。アカボシゴマダラだったら、ぼくも3年前にキャンパスで見ているんだけど、春型があんなに白くなるとは知らなかった。

妻 アカボシゴマダラっていうから、赤い点々が付いているのかと思ったわ。

教授 いや、そのとおりでよ。夏に姿を見せる成虫はどれも黒地に白い斑があって、翅の下の方に赤い点々が付いているんだ。

妻 ふーん。素敵な色の組み合わせじゃない！日本で見られる蝶の種類が増えていいわね。あなたも大学に行くのが楽しみでしょう。

教授 馬鹿言っちゃいけない。ぼくは市ヶ谷でアカボシゴマダラなんて見たくもないね。この頃関東地方で見られるアカボシゴマダラは、誰かが外国から持ち込んだものなんだ。元々日本にもアカボシゴマダラはいるんだけどね、それは奄美大島辺りでしか見られないんだよ。奄美大島のアカボシゴマダラは、春型でもそれほど白くならないそうだ。

妻 それなら、日本の国内で二つのタイプのアカボシゴマダラが見られて、ますます愉快じゃない！それに、市ヶ谷のアカボシゴマダラと奄美大島のアカボシゴマダラは結婚できるんでしょ？遠いから無理かもしれないけど。

教授 たしかに交雑は可能だそうだよ。飛行機で運べばすぐだから、夢物語じゃない。むしろ、それが心配の種なんだ。奄美大島固有のアカボシゴマダラがいなくなってしまうおそれがあるからね。それにね、日本には昔からゴマダラチョウがいる。翅は黒地に白の斑。赤い点々はないけれど、渋くて味わいがあるんだよ。問題は、ゴマダラチョウの幼虫もアカボシゴマダラの幼虫もエノキを食べるということだ。日本古来のゴマダラチョウが駆逐されてしまうかもしれない。そう言えば、ここ数年ゴマダラチョウを見ていないなあ。

妻 それは成り行きに任せるしかないわ。ゴマダラチョウがアカボシゴマダラに置き換わったということで我慢しましょう。100年もすれば、みんなアカボシゴマダラこそ日本の蝶だと思って暮らしているわよ。

問1 教授はどのような形で蝶を残していくのがよいと考えているか。400字程度でまとめなさい。

問2 教授の考え方と妻の考え方を比較したうえで、あなた自身の考えを600字程度で記しなさい。

[小論文2]

解答は解答用紙 [小論文2] に記入してください。小論文2では、字数の指定はありません。

解答の際には、問いの番号を明記してください。

以下の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

毎日新聞社説（2020年7月24日）から引用

問1 読書バリアフリー法はどのような法律で、それにより、国は何を行おうとしているのか、記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問2 視覚障害者らの読書環境には、現在、どのような問題があるのか、記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問3 読書バリアフリー法にはどのような限界があるか、記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問4 読書にはどのようなメリットがあるか、記事に基づいて説明した上で、あなたの考えを記載しなさい。（20点）